

令和4年3月17日

安芸高田市議会  
議長 宍戸 邦夫 様

予算決算常任委員会  
委員長 金行 哲昭

予算決算常任委員会審査報告書

本委員会は、本会議において付託された議案、並びに本委員会に提出のあった議案第24号に対する修正案についてを審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第108条の規定により報告します。

1. 付託案件の審査結果

付託案件	件名	審査結果
議案第24号	令和4年度 安芸高田市一般会計予算	修正案可決（修正案は別紙のとおり） 修正案を除く原案可決
議案第25号	令和4年度 安芸高田市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	令和4年度 安芸高田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第27号	令和4年度 安芸高田市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和4年度 安芸高田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第29号	令和4年度 安芸高田市浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	令和4年度 安芸高田市コミュニティ・プラント整備事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	令和4年度 安芸高田市吉田財産区特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和4年度 安芸高田市中馬財産区特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和4年度 安芸高田市横田財産区特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和4年度 安芸高田市本郷財産区特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和4年度 安芸高田市北財産区特別会計予算	原案可決

議案第 36 号	令和 4 年度 安芸高田市来原財産区特別会計予算	原案可決
議案第 37 号	令和 4 年度 安芸高田市船佐財産区特別会計予算	原案可決
議案第 38 号	令和 4 年度 安芸高田市川根財産区特別会計予算	原案可決
議案第 39 号	令和 4 年度 安芸高田市下水道事業会計予算	原案可決
議案第 40 号	令和 4 年度 安芸高田市水道事業会計予算	原案可決

## 2. 審査の経過

- (1) 審査日程 令和 4 年 3 月 9 日 (水) 9 : 00 ~ 議場  
3 月 11 日 (金) 9 : 00 ~ 議場  
3 月 14 日 (月) 9 : 00 ~ 議場
- (2) 審査内容 別紙「予算決算常任委員会要点記録簿」のとおり

(別紙)

## 予算決算常任委員会要点記録簿

令和4年2月24日付けで本委員会に付託された、議案第24号から議案第40号までの17議案、並びに「議案第24号 令和4年度安芸高田市一般会計予算に対する修正案について」の審査を、3月9日、11日、14日の3日間委員会を開き審査を行った。

令和4年度当初予算は、主要事業が次の7項目、「危機への対応」、「教育の推進」、「医療・介護・福祉の充実」、「生活環境の向上」、「産業の振興」、「文化・芸術の振興」、「多様性の構築」、に区分されており、一般会計の予算規模は198億2,100万円で、前年度と比較して6億100万円の増であった。

特別会計予算は前年度と比較して2,899万円の減、下水道事業会計は6,370万2,000円の減、水道事業会計は8,584万9,000円の減であり、各会計の合計は、313億8,321万5,000円となり、前年度と比較して4億2,245万9,000円の増であった。

審査を通じて出された特徴的な質疑と答弁は次のとおり。

総務部の審査においては、委員より、「避難の呼びかけ体制構築支援事業費補助金について、詳しい説明を求める。」との質疑があり、執行部より、「県からの10分の10の補助金を活用して行うものである。最初に予算化したのは、令和2年度の補正で、自主防災組織の活動の中で、災害時に避難の行動を取るための取り組みに対する補助金で、1地域10万円を限度として、18地域分の予算を計上している。コロナ等の関係で自主防災組織の活動も少し停滞した状況で、この2年間は本事業の活用がない。まずは自主防災組織の活動を、コロナ禍前の状態に戻していきたい。」との答弁があった。

市民部の審査においては、委員より、「人権対策協議会補助金について、今回廃止になった理由を伺う。」との質疑があり、執行部より、「向原町の人権対策協議会は、合併以来、独自に講演会や映画などの啓発行事を実施していた。今後は、啓発活動の専門性を有する、3つの人権福祉センターを拠点に、吉田町と八千代町、美土里町と高宮町、甲田町と向原町を、担当エリア分けしたため、甲田人権福祉センターにおいて効果的な事業を行うよう、必要な予算措置をしている。」との答弁があった。

福祉保健部の審査においては、委員より、「プール健康教室委託料が廃止となった理由を伺う。」との質疑があり、執行部より、「プール健康教室は、年々参加者が減少し、この数年は新規加入者が数名であり、参加者が固定化した状況で教室が運営されている状況であった。本市の財源が潤沢にあるわけではない状況を考えると継続は困難である。今後は、今進めている保健事業と介護予防の一体的事業を、しっかり市民の皆様を広げていきたい。その事業によって健康を守っていきたいと考えている。」との答弁があった。

産業振興部の審査においては、委員より、「地産地消推進事業について、産直市農産物生産振興支援事業補助金が大きく減額している。長い間、地産地消推進を掲げて取り組まれてきたがマイナスに向かわないか。」との質疑があり、執行部より、「産直市のオープン1年前から3年間ということで集中的に事業を実施してきた。約5億円の販売となり、ある程度目標が達成されたため減額し、アグリセミナーなどのソフト面の支援を充実するよう予算を組んでいる。」との答弁があった。

また、委員より、「有害鳥獣対策事業費について、被害が多くなる中で予算を減

額している理由を伺う。」との質疑があり、執行部より、「令和2年度は被害が極端に大きく、捕獲頭数が例年より1,000頭近く多かった。今年度の執行見込みを参考に予算を計上している。」との答弁があった。

建設部の審査においては、委員より、「道路維持に要する経費の市道道路維持費について、来年度の各町ごとの費用は。」との質疑があり、執行部より、「吉田工区1,400万円。八千代工区900万円、美土里工区1,250万円。高宮工区は、来原工区450万円、船佐工区500万円、川根校区450万円。甲田工区1,150万円。向原工区900万円である。」との答弁があった。

さらに、委員より、「すぐやる課を、組織改編によって支所から本庁に一本化することとなるが、組織運営について伺う。」との質疑があり、執行部から、「各支所に駐在している職員が本庁へ集約することとなるが、これまでと変わらず、要望その他パトロール、市内全域に行き、安全な道路の確保をしていきたい。」との答弁があった。

また、「議案第24号 令和4年度安芸高田市一般会計予算に対する修正案」が提出され審査を行った。

内容は、3月7日の本会議において、「安芸高田市副市長定数条例の一部を改正する条例」が可決されたことに伴い、令和4年度安芸高田市一般会計予算から、副市長1名分の人件費1,213万8,000円を減額し、歳入歳出の総額を、198億2,100万円から198億886万2,000円に改めるものであった。

審査した結果、議案第24号については「修正案」ならびに「修正案以外の原案」は、可決すべきものと決し、その他、議案第25号から第40号までの16議案については、すべて原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第 24 号 令和 4 年度安芸高田市一般会計予算に対する修正案について

上記の修正案を地方自治法第 115 条の 3 及び安芸高田市議会会議規則第 99 条の規定により、別紙のとおり提出いたします。

令和 4 年 3 月 7 日

予算決算常任委員会委員長 金 行 哲 昭 様

提出者 安芸高田市議会議員 児 玉 史 則



## 議案第 24 号 令和 4 年度安芸高田市一般会計予算に対する修正案

第 1 条中 「19,821,000 千円」を「19,808,862 千円」に改める。

第 1 表 歳入歳出予算の一部を次のとおり改める。

## 第 1 表 歳入歳出予算

※抹消したのは原案、その上に記載したのが修正案である。

歳 入 (単位：千円)

款	項	金 額
19 繰入金		979,200
		<del>991,338</del>
	3 基金繰入金	965,692
		<del>-977,830</del>
歳 入 合 計		19,808,862
		<del>19,821,000</del>

歳 出 (単位：千円)

款	項	金 額
2 総務費		3,044,100
		<del>3,056,238</del>
	1 総務管理費	2,689,815
		<del>-2,701,953</del>
歳 出 合 計		19,808,862
		<del>19,821,000</del>

歳入歳出予算事項別明細書

※抹消したのは原案、その上に記載したのが修正案である。

1. 総括

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
19 繰入金	979,200 <del>991,338</del>	727,819	251,381 <del>263,519</del>
歳入合計	19,808,862 <del>19,821,000</del>	19,220,000	588,862 <del>601,000</del>

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
2 総務費	3,044,100 <del>3,056,238</del>	2,946,389	97,711 <del>109,849</del>
歳出合計	19,808,862 <del>19,821,000</del>	19,220,000	588,862 <del>601,000</del>

(単位：千円)

本年度予算額の財源内訳				
特定財源				一般財源
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
				2,187,032
20,451	85,817	192,600	558,200	<del>2,199,170</del>
1,785,706	2,149,956	1,007,600	1,583,089	13,282,511
				<del>13,294,649</del>

2. 歳入

19 款 繰入金

3 項 基金繰入金

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
1 財政調整基金繰入金	237,862 <del>250,000</del>	0	237,862 <del>-250,000</del>

3. 歳出

2 款 総務費

1 項 総務管理費

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1 一般管理費	1,021,126 <del>1,033,264</del>	1,002,044	19,082 <del>31,220</del>	27	0	17,066	1,004,033 <del>1,016,171</del>

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 財政調整基金繰入金	237,862 <del>-250,000</del>	財政調整基金繰入金

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
2 給料	355,241 <del>363,641</del>	1,020,098 総務一般事務に要する経費 <del>-1,032,236</del>
3 職員手当等	272,769 <del>276,507</del>	39,795 特別職人件費 <del>-51,933</del>
		2人分 18,720 02 給料 <del>3人分</del> <del>-27,120</del>
		03 職員手当等 13,684 <del>-17,422</del>

給与費明細書

1. 特別職

区分		職員数 (人)	給与費				共済費 (千円)	合計 (千円)	備考
			報酬 (千円)	給料 (千円)	期末手当等 (千円)	計 (千円)			
本年度	長等	3 <del>4</del>		26,400 <del>34,800</del>	19,375 <del>23,113</del>	45,775 <del>57,913</del>	9,643	55,418 <del>67,556</del>	
	計	1,828 <del>1,829</del>	162,105	26,400 <del>34,800</del>	47,758 <del>51,496</del>	236,263 <del>248,401</del>		30,253	266,516 <del>278,654</del>
前年度	長等	4		34,800	24,165	58,965	9,875	68,840	
	計	2,033	147,751	34,800	52,548	235,099	31,372	266,471	
比較	長等	△1		△8,400	△4,790 <del>△1,052</del>	△13,190 <del>△1,052</del>	△232	△13,422 <del>△1,284</del>	
	計	△205 <del>△204</del>	14,354	△8,400	△4,790 <del>△1,052</del>	1,164 <del>13,302</del>	△1,119	45 <del>12,183</del>	